



「SC マンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりリーディングコミュニティについて知っていただくための連載です。

地域防災ネットワークプロジェクト訓練の2巡目がスタートしました

▼問合せ 危機管理課

地域防災ネットワークプロジェクト訓練を実施

6月4日(日)に、松原東小学校で、将来を担う子どもたちに対し、自分の身は自分で守るといふ「自助」、地域の人々と協力して助け合う「互助」を学ぶ地域防災ネットワークプロジェクト訓練が実施されました。



この訓練は、平成24年度から毎年3校で実施しており、昨年度で、市内の小学校全15校での訓練が終了したため、今年度から2巡目がスタートしました。

1巡目は、6年生が主体の訓練でしたが、2巡目からは1年生から6年生までの全児童および保護者も参加の訓練となります。



▲地域防災ネットワークプロジェクト訓練の様子

この日は、町会連合会をはじめ、各種団体との協働のもと、バケツリレー対決、キャタピラ煙避難競争などの訓練や、非常食の炊き出し訓練が行われました。

また、松原市セーフコミュニティ災害時の安全対策委員会によるアンケート活動も実施しました。

タオル運動および両隣声かけ運動をみんなで広めよう

この運動は、高齢者や避難行動要支援者の逃げ遅れによる被害を防ぎ、迅速な安全確認作業を行うために重要な運動です。

●タオル運動とは「この家には救助を必要とする者はいない」ということを示すために、玄関や門扉など外から一目でわかる場所にタオルをくくりつける運動です。ドアノブやポストなどにタオルをくくりつける、挟み込むなどしてください。

※在宅避難者も実施しましょう。

●両隣声かけ運動とは 避難する際に、自宅の両隣にも、『無事ですか？一緒に避難しませんか？』と声をかける運動です。

無事が確認できれば、両隣の家にもタオルをくくりつけて、この家は無事である意思表示をしてあげてください。非常持ち出し袋にはタオルを3本ご用意ください。

市民のけがおよび安心・安全に関する実態調査アンケートを実施

松原市は、WHO(世界保健機関)が推奨する「セーフコミュニティ」活動に取り組んでおり、平成25年11月16日に大阪府下で初となるセーフコミュニティ国際認証都市となってから4年になろうとしています。

そこで、安心・安全なまちに対する市民の皆さんの意識や状況などを正しく把握し、その予防対策に役立てるため、市民の皆さんから無作為に3,000人を選びアンケートを実施します。

アンケートは7月初旬に発送しますので、ご協力をお願いします。

※市民の皆さんに回答いただきましたすべての内容は統計的に処理するため、個人が特定されることや、本事業以外で使用されることは一切ありません。

また、情報は厳格に管理するとともに、守秘義務を厳守します。

▶問合せ 市民協働課